

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公表番号】特表2011-507122(P2011-507122A)
 【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)
 【年通号数】公開・登録公報2011-009
 【出願番号】特願2010-538847(P2010-538847)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/041 3 3 0 B

G 0 6 F 3/041 3 8 0 H

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月14日(2011.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

この処理は、“電圧”行列のすべての点の測定に対応する。この行列は、各点(I, J)に、第I行と第J列の交点の端子で測定された電圧の値を有する行列[M, N]である(ただし1 I Mかつ1 J N)。この行列により、所定の瞬間におけるマトリックス式タッチセンサ1の各点の状態を与えることができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

処理11は、最初に第1列の走査を実行する。この列には例えば5ボルトが供給される。この列に関し、電子回路は、この列と第1行~第M行のそれぞれとの交点の端子における電圧を測定する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

第M行の測定が実行され終わると、この処理は次の列に移行し、対象とする新たな列と第1行~第M行のそれぞれとの交点の端子における電圧の測定を再び開始する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

この動作モードでは、データを取得する処理“取得2”51が実行される。この処理は

、“電圧”行列のすべての点の測定に対応する。この“電圧”行列はサイズが $M \times N$ であり、各点 (I, J) に、第 I 行と第 J 列の交点の端子で測定された電圧の値を有する（ただし $1 \leq I \leq M$ かつ $1 \leq J \leq N$ ）。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

第1のループ32の終わりに条件付き制御が実行される。マトリックス式タッチセンサ1全体で少なくとも1つの接触点が発見されなかった場合には、この処理は、連続した取得ステップ51と分析ステップ61に対応する“単接触”モードの第2のループ33に入る。